



1号

杉戸高校進路指導部 令和2年6月22日発行

三者面談用(3年生向け)

3年生は具体的な目標を決めていよいよ勉強に力が入る時期です。今回は、新入試の情報についてまとめ直してみました。詳しい内容は「進路ガイドブック」をご覧ください。なお、入試のスケジュールに関しては、コロナウイルスの影響で変更になる可能性もありますので、今後発表される情報にはご注意ください。

Calendar table showing exam dates from September to March for various university selection methods like 総合型選抜, 学校推薦型選抜, and 一般選抜.

◆出典：文部科学省「高大接続改革の実施方針等の確定について」(H29.7.13より作成)

※1：大学入学共通テスト前に出願の締め切りがある大学・学部の場合

※2：大学入学共通テストの結果を見て出願できる大学・学部の場合

●総合型選抜(旧AO入試)

総合型選抜は、大学が受験生の持つ個性や能力を、じっくり時間をかけて判定する人物重視の入試です。新入試からは書類(志望理由書や活動報告書等)の積極的な活用の他に、学力的要素が問われる入試へと変わります。合否発表が11/1以降のため、不合格になってから受験勉強を始めるのは遅いので、一般選抜の勉強をしつつ、総合型選抜の準備をすることになります。

●学校推薦型選抜(旧指定校、公募制推薦入試)

学校推薦型選抜も、調査書などの出願書類の評価だけでなく、学力的要素が問われます。第1志望校にチャレンジする機会は増えますが、一般選抜に向けて追い込みをかけている時期に負担が増え、受験勉強の時間が大きく削られることが考えられます。近年、倍率が高く合格率が下がっている傾向もあります。総合型選抜同様に、一般選抜の準備をしつつ学校推薦型選抜の準備をすることになります。なお、指定校推薦でも大学側が求める基準を満たさなければ不合格になることもあります。ご注意ください。

●専門学校・就職

早いところではAO入試のエントリーが始まった専門学校もありますが、焦らず、複数の専門学校を比較検討して志望校を決定しましょう。公務員を目指している生徒は、この時期に募集要項を発表する自治体が多いため、

※ 新入試から、小論文やプレゼンテーション、教科・科目テスト、口頭試問等又は共通テストのどれか1つを必須化

ホームページ等をこまめに確認してください。また、試験のための勉強も進めましょう。民間就職に関してですが、企業の選考開始が例年より1ヵ月遅れの10月16日からとなります。

【受験勉強をしていくにあたって】

1 まずは基礎を固める

1学期～夏休みにかけては基礎力定着に徹しましょう。入試で合格点を取るには、確実に基礎問題で得点する必要があります。応用問題を解くにも、土台となる基礎事項の理解が不可欠です。皆さんが受験する「大学入学共通テスト」は、「思考力・判断力・表現力を活用して解く」問題が一層重視される、教科書等で扱われていない資料等も扱う場合があるなど変更点がありますが、ベースになるのは教科書の内容です。まずは教科書に書かれていることをしっかりと理解し、教科書の例題や基本的な問題集が解けるよう学習しましょう。優先して基礎を固めてほしいのは英国数の3教科です。

2 模試を積極的に受験し、活用する

受験生が受験勉強を進めていくうえで、自分の立ち位置を客観的に測り、日々の学習の成果を確認するのに役立つのが模試です。模試の結果が返却されると「判定」や「偏差値」を見てしまいがちですが、きちんと結果全体を分析し、今後の勉強に活かしましょう。特に分析してほしいのは各教科のバランスと設問ごとの得点率です。自分の弱点が反映されているので、その分野には特に力を入れて対策に取り組んでください。

また、模試を受けたら必ず解き直しをしましょう。解き直しは模試について一番覚えている当日の夜がベストです。模試の問題と同じ問題が入試本番で出題されることはよくあるので、「似た問題が出題された時に正解できるようになるため」にも解き直しは重要です。特に解けなかった問題と正解したけれどわからなかった問題をやりましょう。

◎「大学入学共通テスト」に向けて

過去問のない試験に挑む皆さんにとって、模試は今までの受験生以上に重要な意味を持ちます。新入試にどれだけ対応できるのかを測る「実力診断」としてはもちろんですが、貴重な「予想問題」として大いに活用しましょう。また、模試が終わっても問題は捨てずに取っておいてください。また、新傾向の問題に慣れるためにも、学校で受験する進研模試の他に河合塾などの模試も受けてみましょう。

3. 隙間時間を有効活用

早いうちに家庭学習の習慣を身に付けるのは受験生として当然ですが、自分の生活を振り返ってみると家庭学習以外で勉強に使える時間はたくさんあります。

(1) 通学時間

公共交通機関を利用して登校している人は、通学時間を上手に利用しましょう。英単語・古文単語・携帯電話などに録音したリスニングを聞く…等、できることはたくさんあります。

(2) 昼休み

昼食後の休憩も活用できます。昼休みのリスニング対策に参加する、数学の問題演習を行う、漢字や四字熟語などを覚える…等、通学時間と同様にできることはたくさんあります。

(3) 授業

なんといっても、授業はやはり大切です。受験科目はもちろんですが、受験で使わない科目の内容もどこで出題されるかわかりません。以前、家庭科で学んだ内容が英語の長文で出題された…なんてこともありました。受験がすめば終わりではありません。社会に出て働いてからも、高校で学んだ知識を使うこともあります。今学べることは積極的に学んでください。